

# 様式1 【社会・小4・「住みよいくらしをつくる 水はどこから」】①

## 育成を目指す資質・能力

- (知・技) 飲料水を供給する事業は、安全で安定的に供給できるよう進められていることや、地域の人々の健康な生活の維持と向上に役立っていることを理解する。
- (思・判・表) 供給の仕組みや経路、県内外の人々の協力などに着目して、飲料水の供給のための事業の様子を捉え、それらの事業が果たす役割を考え、表現する。
- (学びに向かう力等) 飲料水に関わる対策や事業に関心をもち、単元の課題を予想し学習計画を考えたり、意欲的に調べたりして、学んだことを社会生活に生かそうとする態度を養う。

## ICT活用のポイント

個人でまとめたポートフォリオを学習支援ソフトを使いクラス全体で共有し、多様な意見に触れ、児童の考えを深める授業

### 【つかむ】

各単位時間で解決したことを確認し、本時の見通しをもつ。

**単元の課題を解決しよう。**

### 【追究する】

今までにまとめたポートフォリオを基に、単元の課題に対する結論を考え、まとめる。

### 【まとめる】

単元の課題を解決するために、個人の考えを学級全体で共有し、個人で再考する。

### 【単元の課題】

わたしたちの生活にかかせない水はどこから来て、どのようにして、わたしたちに送られるのでしょうか。

## 事例の概要

- 各単位時間のまとめを1枚ポートフォリオに蓄積し、単元の課題解決へ結び付ける。
- 単元の課題に対する結論を共有し、友達との意見交流をする。
- 単元の課題に対する友達の結論を参考に、自分の結論を再考し、まとめる。

## 事例におけるCT活用の場面

- 1枚ポートフォリオのまとめに記述した内容を学習支援ソフトで学級全体で共有し、単元の課題に対する自分の結論と友達の結論とを比較し、さらに自分の考えを深め、広げる。

# 【社会・小4・「住みよいくらしをつくる 水はどこから」②】

## 【事例におけるICT活用の場面】



児童

### 【単元の課題】

わたしたちの生活にかかせない水はどこから来て、どのようにして、わたしたちに送られるのでしょうか



- 1枚ポートフォリオにおける学習の積み上げを確認し、「水はどこから」の学習内容を振り返りながら、単元の課題に対する結論をまとめることができる。
- 共有する場面では、手元にある自分の結論を見ながら、友達がまとめた結論の内容と比較することができる。
- 画面共有されたクラス全員の単元の課題に対する結論を確認し、自分と同様の内容、違う内容だったり、表現の仕方をしたりしている友達を見つけることができ、それを生かして自分の結論を再構築することができる。

## 【事例におけるICT活用の場面】



- 多様な考えに触れながら、自分自身の単元の課題に対する結論を加除修正することができる。

- 教師は、提出された各児童の考えから、次単元につながる内容を大型ディスプレイに写しだし、振り返りを行う。



教師